



こんにちは！損害サービス担当、加奈川 毅です(^o^)

事故

は現場で起きているんだ~!!



◆◆◆ ! 駐車場での事故防止ポイント ! ◆◆◆

◎駐車場内での事故パターン

① 車同士

② 人対車

③ 車両単独

①車同士の事故では「後退時」が最も多く、次に「出会い頭」が続きます。

駐車場では道路のような交通規制がないため、駐車スペースを見つけた車が周囲の安全確認をせずにいきなり後退しようとしたり、駐車スペースを探しながら走行していたりと、不規則な動きの車が多くなります。不十分な安全確認は、車同士の衝突が起こりやすくなります。

②人対車の事故では、駐車場内は歩道と車道の区別がなく、歩行者の行動を予測することが難しくなります。ドライバーが駐車スペースに気を取られるなどして、周囲をよくみていないと歩行者と接触する危険性が高くなってしまいます。

③車両単独事故では、駐車スペースへの出入りの際、周囲の安全確認を行いながらペダルやハンドルの操作を正確に行わなければならない、作業が複雑になります。焦ったり、車の切り返しがうまくいかなかったりすると運転操作の誤りに繋がり、他の駐車車両への接触や、車が急発進して壁に衝突する等の危険が生じます。

◎駐車場内での事故を防ぐポイント



歩くスピードで走行する

駐車場内は車や自転車、歩行者が入り交じっている環境であるため、思わぬ事故が起こる可能性があります。また、死角が多い場所や薄暗く狭い場所もあるので、万が一のときにはすぐに停止できるように、十分な車間距離をとり、歩くスピードで走行しましょう。

ラインや矢印などの指示に従う

駐車場内に設けられている一時停止のラインや順路を示す矢印、駐車スペースの枠線、信号や警告音などには必ず従いましょう。特に確認不足や順路無視での逆走は大変危険です。

ヘッドライトやハザードを点灯して意思表示をする

駐車場内では、なるべく周囲に分かりやすく意思表示をしたり、自車の存在をアピールしたりすることが大切です。駐車スペースに入る前にはハザードをつける、駐車スペースから出る時はヘッドライトを点灯することで、周囲にその先の行動が伝わりやすくなります。

まんべんなく注意を向け、落ち着いて行動する

駐車スペースを探すことに意識が向いてしまうと注意が散漫になります。また、後退に不慣れであると、焦りや苦手意識を感じ、心理状態が不安定になることもあります。思わぬ操作ミスを起こす可能性があるため落ち着いて行動しましょう。

目視での安全確認をする

駐車スペースから出る時は、車の先頭を少し出して一旦止まり、通路を通行している車や歩行者に自車の存在を知らせましょう。二段階で停止し、安全確認を目視で行ってください。後退時にもバックモニターやセンサーだけに頼らず、目視でも安全確認を行いましょう。